

**sawai**

サワイグループホールディングス株式会社

# 2025年3月期第2四半期(中間期) 決算説明資料

---

2024年11月11日

東京証券取引所 プライム市場

証券コード:4887

## 2025年3月期(2024年度)上期実績

- 売上収益は前年同期比0.5%増、コア営業利益は前年同期比0.8%増
- 信頼回復に向けた活動に注力したことによる影響等から、期初上期計画に対して未達  
一方で、ジェネリックビジネスの将来を見据えて、製品価値の維持に向けた取り組みを推進したことにより、販売単価が改善

## 2025年3月期(2024年度)下期修正計画

- 下期計画:売上収益は前年同期比7.3%増、コア営業利益は前年同期比11.7%増  
(通期計画:売上収益は前年同期比4.0%増、コア営業利益は前年同期比6.1%増)
- 選定療養制度導入対象品目や限定出荷解除品目を中心とした販売数量の増加、  
12月新製品等でのシェア獲得を目指した活動を継続すること等により、収益の拡大、収益性のさらなる向上を目指す
- 供給の状況  
現在の限定出荷・出荷停止品目数:129品目、通常出荷:653品目(11/11時点)  
他社供給状況、限定出荷品目の需給・在庫状況等を勘案し随時限定出荷品目の見直しを実施
- 生産数量  
24年度2Qの生産数量は委託生産含め約82億錠(24年度年間計画177億錠、進捗率:46.3%)  
上期は生産計画に対して未達となったものの、通期では計画通りの見込み

# 2025年3月期(2024年度) 上期決算概要

- 売上収益は前年同期比0.5%増、コア営業利益は前年同期比0.8%増
- 信頼回復に向けた活動に注力したことによる影響等から、期初上期計画に対して未達一方で、ジェネリックビジネスの将来を見据えて、製品価値の維持に向けた取り組みを推進したことにより、販売単価が改善
- 関係会社株式売却益14,622百万円(税引後中間利益11,029百万円)を計上したこと等により、親会社の所有者に帰属する中間利益は前年同期を大きく上回る

(単位:百万円)

	2023年度 上期 実績	2024年度 上期 実績	前年 同期比	期初 上期予想	同達成率
売上収益	87,395	<b>87,870</b>	+0.5%	99,000	88.8%
売上総利益	27,151	<b>27,326</b>	+0.6%	32,500	84.1%
コア営業利益	12,475	<b>12,575</b>	+0.8%	14,600	86.1%
営業利益	10,891	<b>11,755</b>	+7.9%	13,600	86.4%
税引前中間利益	10,700	<b>11,409</b>	+6.6%	15,100	75.6%
親会社の所有者に帰属する中間利益	8,444	<b>18,901</b>	+123.8%	22,000	85.9%
基本的1株当たり中間利益(EPS)	64.27	<b>146.25</b>	+127.6%	167.42	87.4%

為替レート(期中平均)

1ドル141円

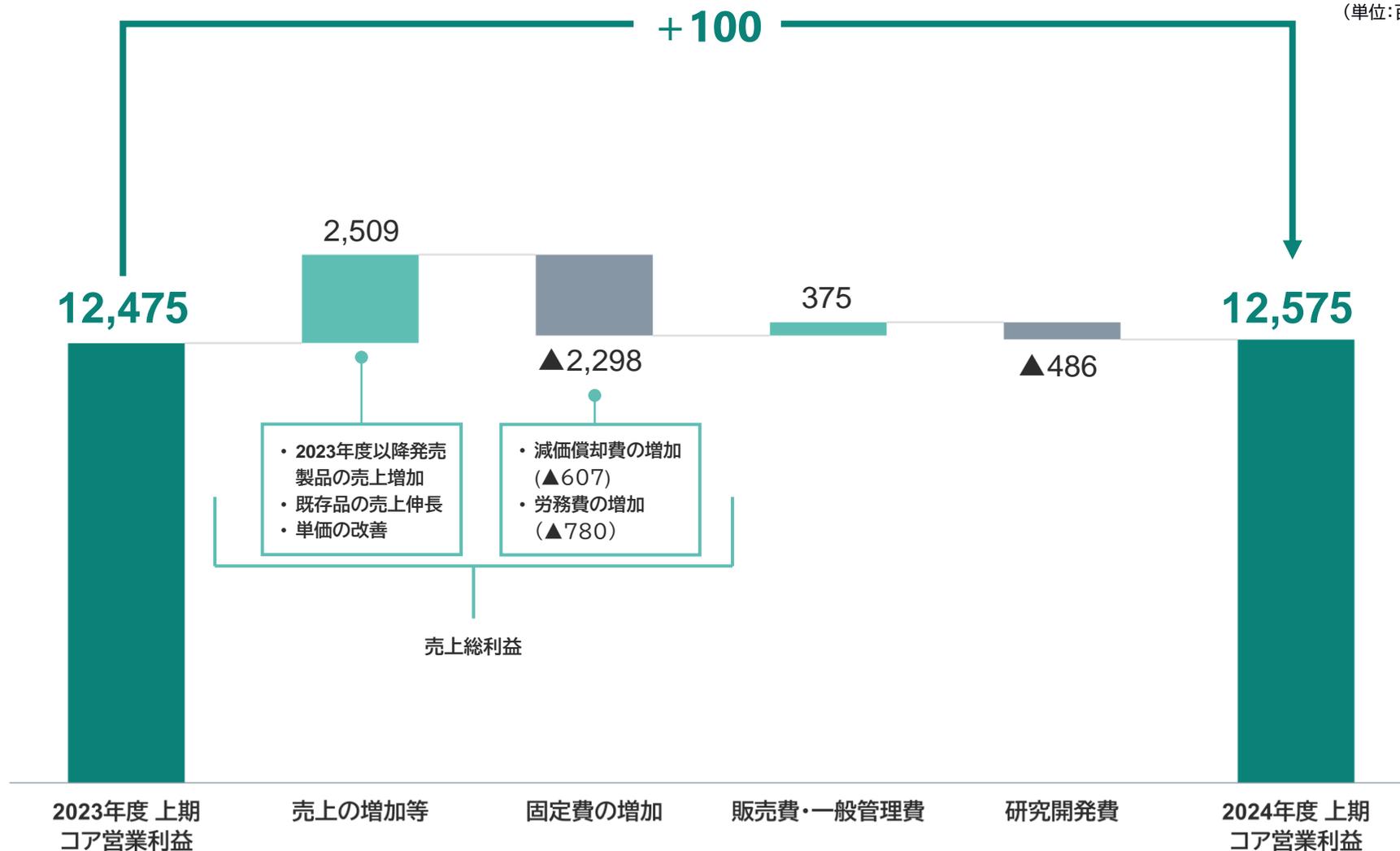
1ドル143円

※1 売上収益～税引前中間利益は、継続事業である日本事業の金額。親会社の所有者に帰属する中間利益は、継続事業及び非継続事業を合算した金額を表示

※2 コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因等による損益を除いて算出

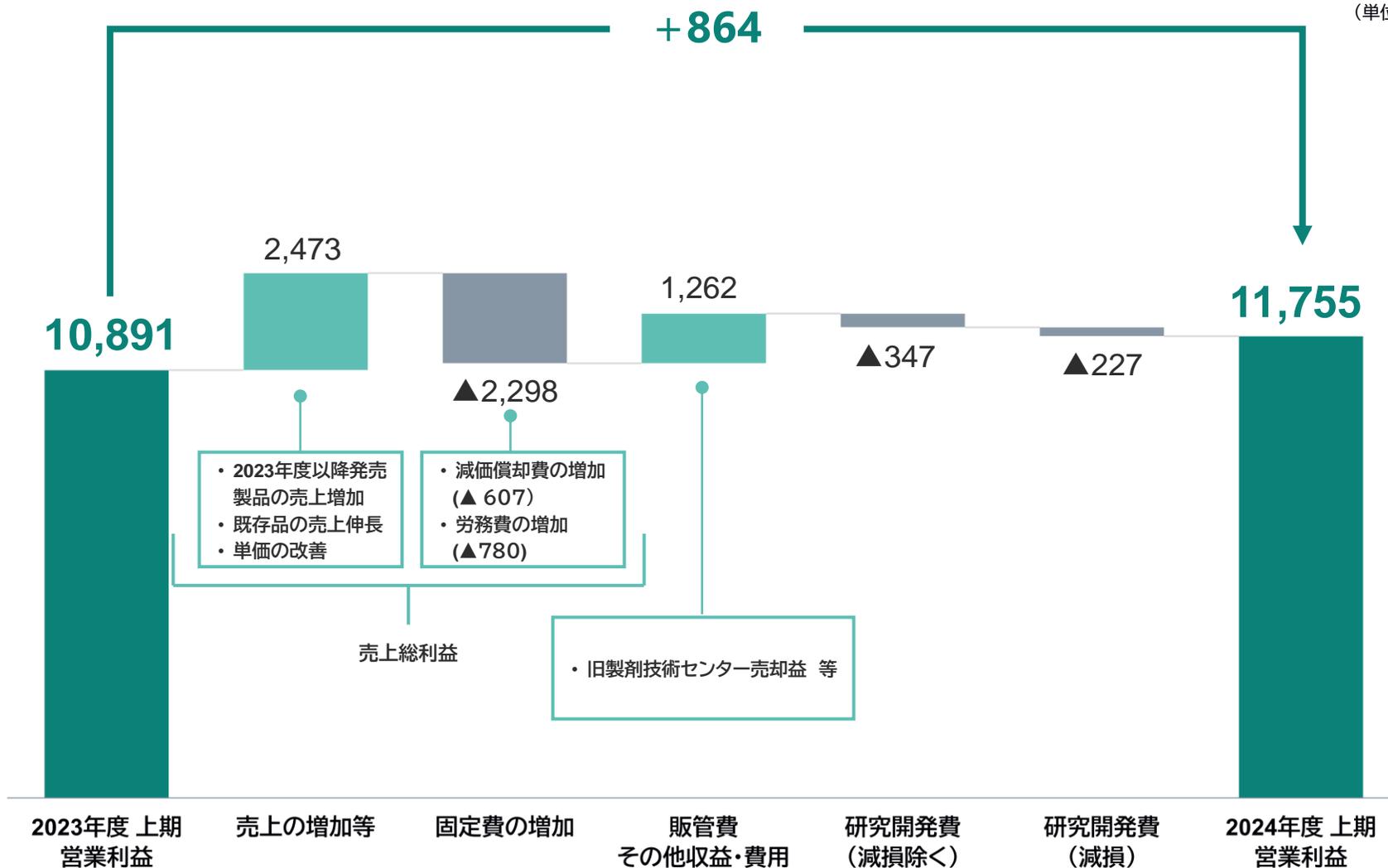
# コア営業利益の増減要因

(単位:百万円)



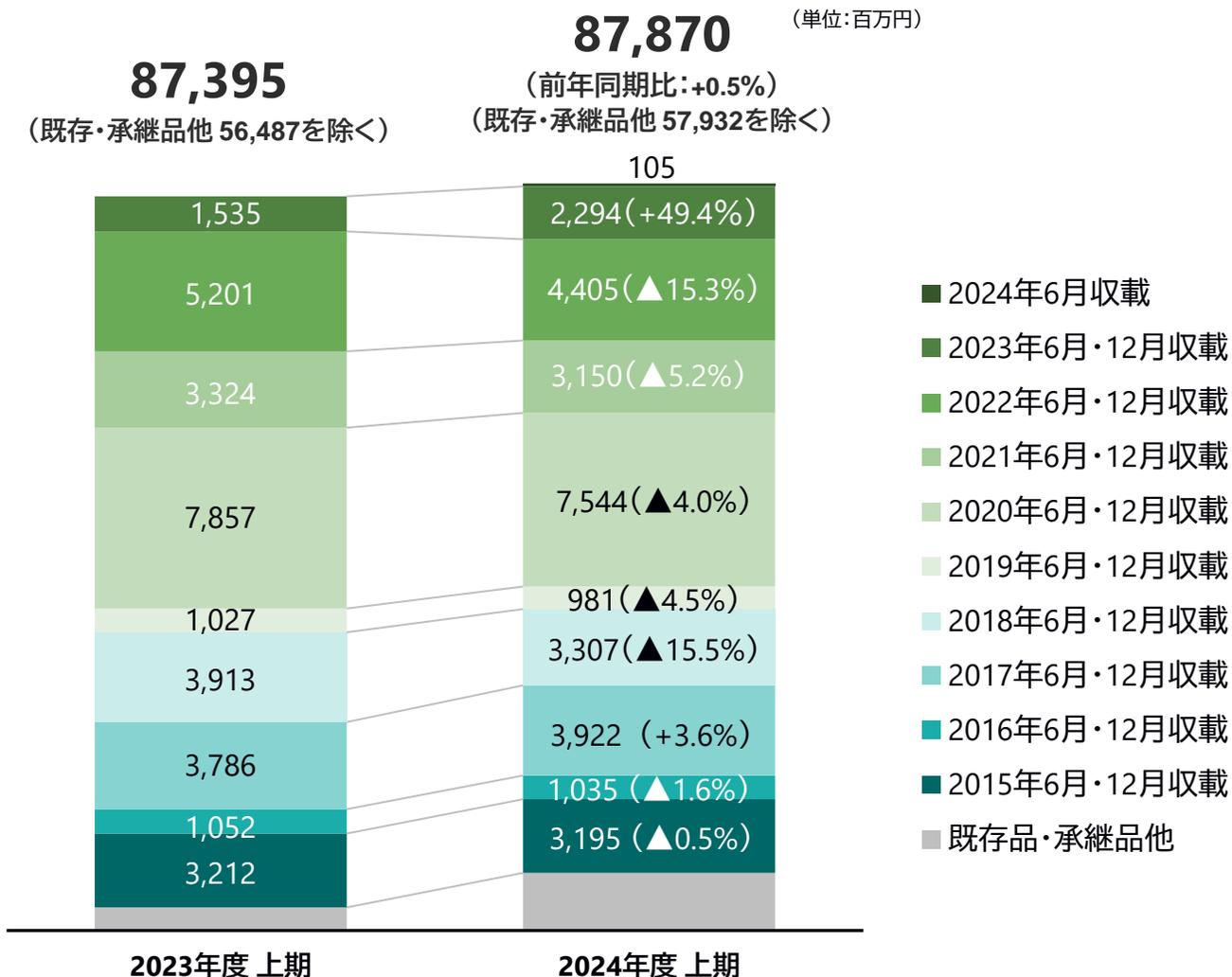
# 営業利益の増減要因

(単位:百万円)



# 収載年度別売上収益

- 2023年度以降収載品の売上が伸長
- 価格政策により、2014年度以前の既存品の売上が伸長



# 2024年度 通期業績予想

- 上期実績等を踏まえ通期業績予想を修正
- 下期は選定療養制度導入対象品目や限定出荷解除品目を中心とした販売数量の増加、12月新製品等でのシェア獲得を目指した活動を継続。また、コスト削減にも取り組むことにより、収益の拡大、収益性のさらなる向上を目指す  
(下期計画:売上収益は前年同期比7.3%増、コア営業利益は前年同期比11.7%増)

(単位:百万円)

	2024年度実績	2024年度通期業績予想		増減率 (修正/当初)
	上期	当初予想	修正予想	
売上収益	87,870	202,000	183,900	▲9.0%
売上総利益	27,326	64,000	56,800	▲11.3%
コア営業利益	12,575	28,000 <sup>*1</sup>	25,400	▲9.3%
営業利益	11,755	26,000	23,600	▲9.2%
税引前中間(当期)利益	11,409	27,200	22,900	▲15.8%
親会社の所有者に帰属する 中間(当期)利益	18,901 <sup>*2</sup>	30,000	26,400	▲12.0%
EBITDA(調整後)	19,085	41,400	38,700	▲6.5%
基本的1株あたり中間(当期)利益 (円)	146.25	228.30 <sup>*3*4</sup>	208.53	▲8.7%
為替レート(期中平均)	1ドル143円	1ドル145円	1ドル145円	

継続事業

\*1 営業利益から次の項目を調整

2024年度 当初予想	研究開発費償却 2,000
2024年度 修正計画	研究開発費償却 1,900 研究開発費減損損失 500 その他収支 ▲500

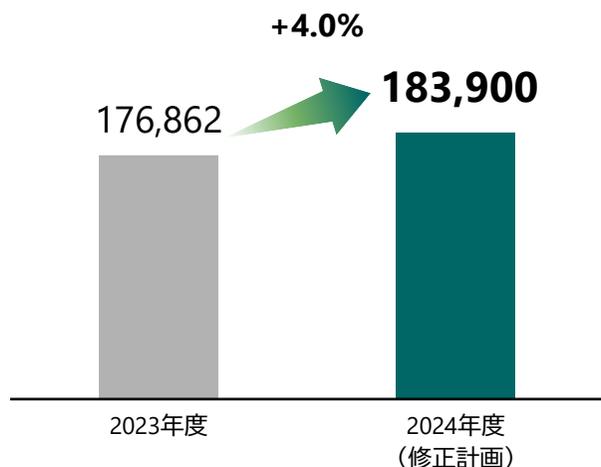
\*2 継続事業 7,871百万円 非継続事業 11,029百万円(米国事業の非継続事業化によるもの)

\*3 2024年5月13日開催の取締役会において、2024年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行うことを決議。基本的1株当たり当期利益は、2025年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定

\*4 当社は2024年6月25日開催の取締役会において、自己株式取得に係る事項の決定及び自己株式の消却に関する決議したが、連結業績予想の「基本的1株当たり当期利益(EPS)」については、当該影響を考慮していない。

- 下期は、新製品と既存品の売上増加により、前年同期比7.3%増(通期では4.0%増)を目指す

(単位:百万円)



## 内訳

- 既存品の売上金額増加影響 +3,700百万円  
選定療養対象品目、限定出荷解除品目を中心に販売数量増
- 2024年度新製品 +3,300百万円  
6月、12月収載の新製品でのシェア獲得

## 主な取り組み

- 選定療養等の市場ニーズに合わせた販売情報提供活動を継続的に実施
- 12月新製品については、需要に対し十分な供給量を確保したうえで、医薬品卸・販売会社との連携によるプロモーション活動を展開
- また、新製品・既存品とも需給状況をリアルタイムで把握、社内連携することでさらなる安定供給を目指す

# 供給不足の早期解消に向けた限定出荷の積極的解除について

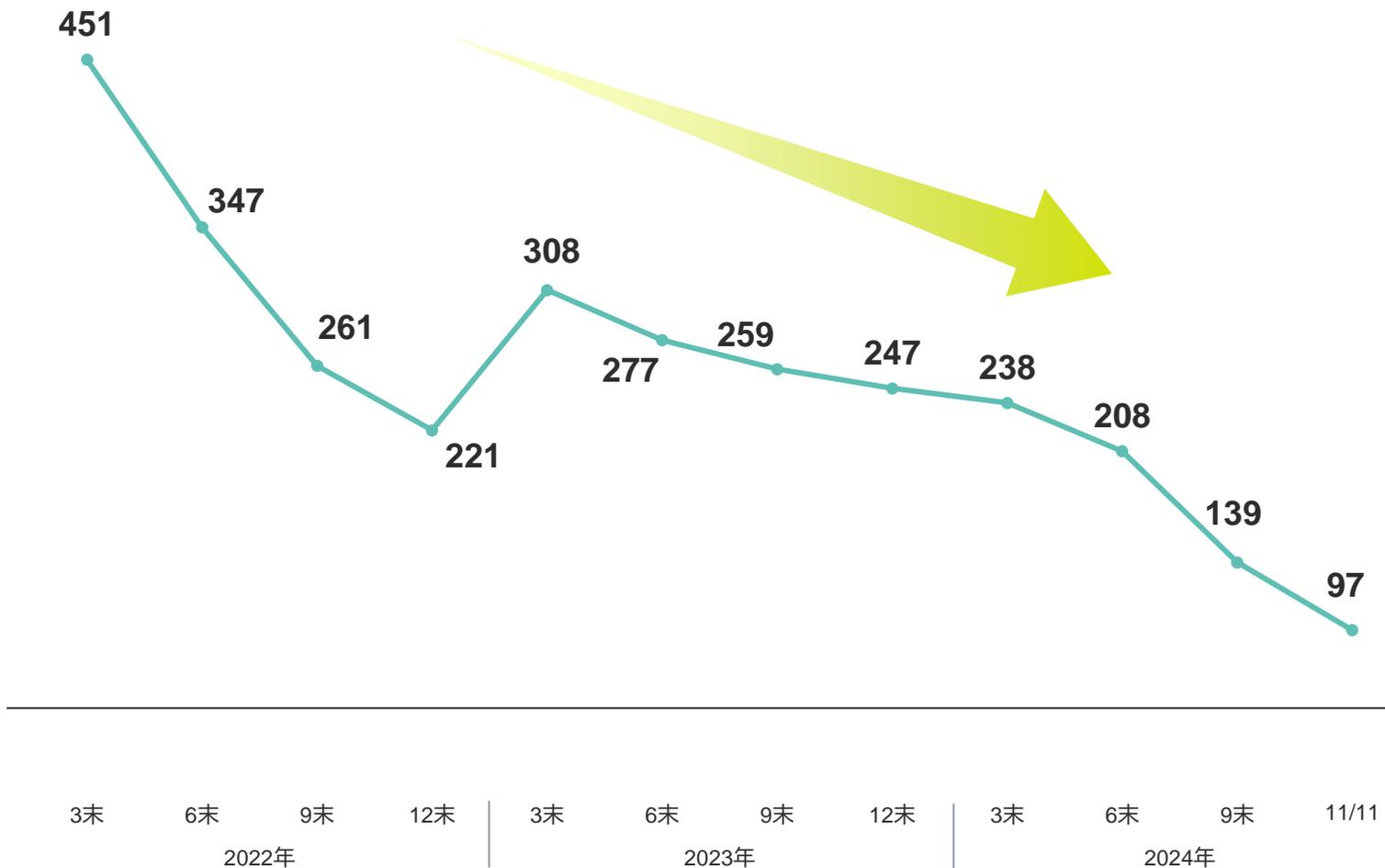
- 7月以降、積極的な限定出荷解除を決断し、115品目の解除を実現(11/11時点の限定出荷品目数:97品目)
- 増産を着実に実行し、さらなる限定出荷の解除を目指す
- 供給不足解消には業界全体の協力も必要であり、他社にも同様の対応を期待

当社の供給状況	<ul style="list-style-type: none"><li>● 現在の限定出荷・出荷停止品目数:129品目、通常出荷653品目(11/11時点) (参考:限定出荷品目数の推移)※次ページグラフ参照 2024年3月末:238品目、2024年6月末:208品目、2024年9月末:139品目</li></ul>
市場全体の状況	<ul style="list-style-type: none"><li>● 現在でも約19%の医薬品が出荷停止・限定出荷中(9月末時点)</li></ul>
当社の 取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"><li>● 製造委託先含め全社一丸となって増産体制を構築、今期の生産数量は前期と比較し18億錠の増加を見込む (参考:生産数量の推移)23年度:約159億錠、24年度(計画):約177億錠</li><li>● さらなる生産能力拡充に向け、第二九州工場新固形剤棟(ステップ2)等積極的な設備投資を実施 (参考:設備投資額の推移)21~23年度(実績):585億円、24~26年度(計画):約785億円</li></ul>

## ■ スケジュール

2024年11月8日	25品目の限定出荷解除(解除品目リストは11/8に当社メディカルサイト掲載)
2024年12月以降	市場動向、在庫状況等を見極めたうえで、引き続き積極的な限定出荷解除を行う予定

## ■ 限定出荷品目数の推移



※各月末日に集計

## ■ トラストファーマテック

- 品目移管、生産状況ともに順調に進捗
- 人財採用は計画通り、今後は新たな取り組みを行い定着を目指す

## ■ 第二九州工場 新固形剤棟

- 7月以降に生産開始、品目移管や生産は概ね予定通り進捗
- 承認書点検※への対応等による生産スケジュールへの影響が一部あったものの、下期は計画達成に向けた取り組みを継続

※承認書と実際の運用に齟齬がないかの自主点検



造粒



PTP包装・目視検査



品質検査



包装

	2024年度 2Q累計実績	2024年度 通期計画
トラストファーマテック	3.6億錠	9億錠
	6品目	9品目
第二九州工場新固形剤棟	-	3億錠
	-	10品目

- ・ 330億円を上限とする自己株式の取得継続中
- ・ 取得した株式は全て消却予定

■ 自己株式の取得状況(2024年10月31日現在の累計) ※分割後の株式数にて記載(効力発生日2024年10月1日)

取得株式総数	9,493,900株	株式の取得価額の総額	19,968,974,836円
--------	------------	------------	-----------------

【ご参考】

取得株式総数	20,700,000株(上限)
株式取得価額の総額	330億円(上限)
取得期間	2024年7月1日～2025年3月31日
取得方法	東京証券取引所における取引一任勘定に基づく市場買付を予定

■ 中間配当金について

	2025年3月期		2024年3月期	
	中間	期末予想	中間	期末
1株当たり配当金	78円	27円(81円※)	65円	65円
DOE(年間)	3.2%(予想)		2.7%	

※株式分割前換算 16円増配の81円(年間計 29円増配の159円)

# 參考資料

# 信頼される企業基盤の確立

- 信頼性保証体制確立のため、システム導入および人員体制強化を継続実施中

## ■ 導入システムの効果と投資額

	効果	現状	今後の予定	投資額
品質イベント管理システム (QMS)	<b>データの信頼性向上</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>逸脱処理が完了していない製品の出荷を制御</li> <li>アクセス権制限によるデータ改ざん防止</li> <li>不正操作の追跡が可能</li> <li>アラート機能による作業の「抜け・漏れ」防止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>当社全工場において、QMSは未導入</li> <li>現在、全工場の要件の取りまとめを実施中</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2025年4月からQMSを用いた逸脱/CAPA業務を開始予定</li> <li>その後、変更その他業務などにも展開予定</li> </ul>	1.4億円
製造実行システム(MES)、 実験室情報管理システム (LIMS)	<b>記録の正確性向上</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>リアルタイム記録</li> <li>記録書の差し替えや不正な試験のやり直しを防止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>MES導入状況:5工場導入済み(鹿島、関東、三田西、TP清間、第二九州新棟) <b>(2024年6月完了)</b></li> <li>LIMS導入状況:5工場導入済み(鹿島、関東、TP矢地、TP清間、第二九州新棟) <b>(2024年6月完了)</b></li> </ul>	第二九州の既存棟に、MES/LIMS導入予定 (2027年4月稼働予定)	12億円
			MES未導入工場への導入は、2027年度以降の次期中計期間を予定 (三田、九州、TP矢地)	24億円 (2027年度以降)
			三田、三田西、九州に、LIMS導入予定 (2026年7月稼働予定)	12億円

## ■ 人員体制の強化

	中計発表時 (2024年5月)	2024年10月 現在	計画
本社 品質保証(QA)、薬制(RA)体制強化	56名	61名	80名 (中計発表時対比:143%、2026年度までに)
工場 品質保証(QA)、品質管理(QC)の体制強化	465名	520名	570名 (中計発表時対比:123%、2026年度までに)

- 承認書自主点検を2024年10月末時点で実施完了
- 自社工場へのGMP監査についても全工場において1回目監査完了

承認書点検	現状	計画
承認書点検 KPI:進捗率% 完了製品数/計画した製品数	厚労省通知に基づき自主点検実施完了 (2024年10月末現在)	全製品を対象に承認書点検を継続的に実施する
GMP監査	現状	計画
本品質保証部によるGMP監査(沢井製薬6工場TP2工場) KPI:進捗率% 完了件数/計画件数	全8工場において 1回目の監査終了(10月末現在)	2回/年・工場 (同行者:1回目/NPO-QAセンター、2回目/GQP・GMP外部識者)  *当局や他社製販による監査についても取締役会に報告
職員教育	現状	計画
教育時間増加率 (対象:製造、品質管理等GMP業務に携わる職員) KPI:増加率% 一人当たりの教育時間(2023年度比)	2024年度上期の達成状況:113%	増員やシステム導入等効率化で本中計期間中は毎年増加させる
一定の習熟度レベルの資格認定を受けた職員数(製造/試験) KPI:人数/製品	人数(資格認定数)/製品(承認品目) 2023年度 製造 44人/品目 QC 5人/品目 2024年度上期 製造 49.2人/品目 QC 5.1人/品目	計画的な教育と経験により習熟度の高い人財を増加させる

# 最薄防湿PTPシートを用いた包装パッケージが 2024日本パッケージングコンテストにて「アクセシブルデザイン包装賞」を受賞 sawai

- 公益社団法人日本包装技術協会が主催する「2024日本パッケージングコンテスト」において、沢井製薬で製造販売をしているゾニサミドOD錠TRE「サワイ」※が、「アクセシブルデザイン包装賞」を受賞

## ■ 本包装パッケージの概要

本PTPシートの概要	<ul style="list-style-type: none"><li>患者さんがより小さい力で錠剤を取り出せることを目指し、防湿性能は維持しつつ従来の防湿シートよりも23%の薄肉を実現した防湿シート</li><li>住友ベークライト株式会社と協業し開発</li></ul>
開発経緯・目的	<ul style="list-style-type: none"><li>手の震えの症状が表れるパーキンソン病の患者さんにおいては、PTPシートから錠剤を押し出す等の動作が負担になると考えられる</li><li>そのため、患者さんの取り扱いやすさを目指し、取り出し性と防湿機能を考慮したPTPシートの開発に着手</li></ul>
環境負荷の低減	<ul style="list-style-type: none"><li>1シートあたりに使用するプラスチック量は22%削減、</li><li>従来品比24%の温室効果ガス排出量削減となる見込み</li></ul>
今後の展開	<ul style="list-style-type: none"><li>個々の医薬品の安全性、患者さんの使用性、環境保護性が実現できる包装設計の選択肢として展開</li></ul>



今後も、“なによりも患者さんのために”の企業理念のもと、  
ひとりでも多くの方の健康に貢献できるよう取り組んでまいります。

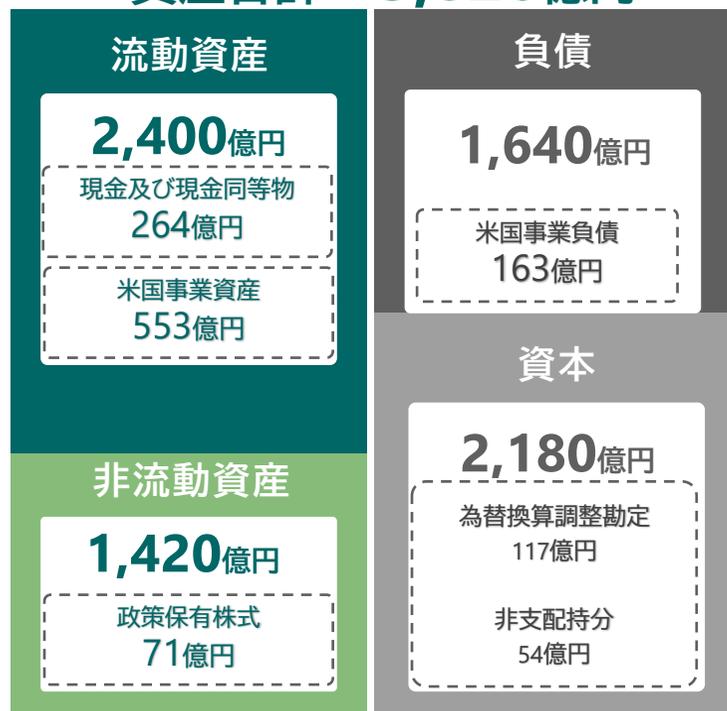
※ゾニサミドOD錠TRE「サワイ」：パーキンソン病治療薬・レビー小体型認知症に伴うパーキンソニズム治療薬

# バランスシート

- 米国事業売却と政策保有株の売却により、ネットD/Eレシオが低下
- これらの売却代金等を活用し、330億円の自己株式取得を実行中

2024年3月末

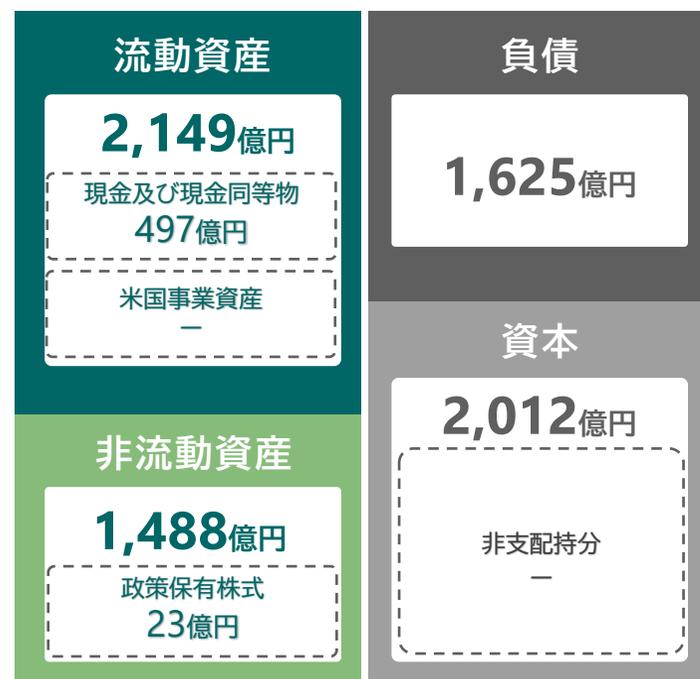
資産合計 **3,820**億円



親会社所有者帰属持分比率 **55.7%**  
ネットD/Eレシオ **0.27**

2024年9月末

資産合計 **3,637**億円



親会社所有者帰属持分比率 **55.3%**  
ネットD/Eレシオ **0.22**

# キャッシュ・フロー計算書

- 医薬品の供給不足問題を解決させるため、引き続き生産能力拡充に向けた設備投資を実施

(単位:百万円)

	2023年度 上期実績	2024年度 上期実績	増減額	2024年度 上期実績の主な内訳
営業活動によるCF	10,177	<b>7,000</b>	<b>▲3,177</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 税引前四半期利益 +11,409</li> <li>● 減価償却費及び償却費 +7,402</li> <li>● 棚卸資産 ▲11,793</li> </ul>
投資活動によるCF	<b>▲17,015</b>	<b>14,910</b>	+31,926	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 有形固定資産の取得による支出 ▲15,685</li> <li>● 子会社株式の売却による収入 +28,429</li> <li>● 投資有価証券の売却による収入 +6,443</li> </ul>
財務活動によるCF	13,457	<b>▲9,305</b>	<b>▲22,762</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 長期借入れによる収入 +35,036</li> <li>● 長期借入金の返済による支出 ▲28,685</li> <li>● 自己株式の取得による支出 ▲16,068</li> </ul>
現金及び現金同等物の 期末残高	40,821	<b>49,660</b>	+8,839	
EBITDA(調整後) <sup>*2</sup>	18,509	<b>19,085</b>	+576	

\*1 EBITDA(調整後)を除き、継続事業と非継続事業合算ベース

\*2 コア営業利益+コア営業利益算出上マイナスされる減価償却費及び償却費・減損損失

## 【日本事業】 12月収載予定新製品

- 5成分10品目について薬価収載予定
- 6月収載品目を含め、今期新製品の売上は33億円を計画

薬効分類名	製品名	先発品名
選択的 direct 作用型第 X a 因子阻害剤	リバーロキサバン錠10mg「サワイ」 リバーロキサバン錠15mg「サワイ」 リバーロキサバンOD錠10mg「サワイ」 リバーロキサバンOD錠15mg「サワイ」	イグザレルト®錠10mg イグザレルト®錠15mg イグザレルト®OD錠10mg イグザレルト®OD錠15mg
選択的DPP-4阻害薬／ 2型糖尿病治療薬	ビルダグリプチン錠50mg「サワイ」	エクア®錠50mg
選択的DPP-4阻害剤／ 2型糖尿病治療剤	サキサグリプチン錠2.5mg「サワイ」 サキサグリプチン錠5mg「サワイ」	オングリザ®錠2.5mg オングリザ®錠5mg
小腸コレステロールトランスポーター 阻害剤／HMG-CoA還元酵素阻害剤 配合剤	エゼロス®配合錠LD「サワイ」 エゼロス®配合錠HD「サワイ」	ロソーゼット®配合錠LD ロソーゼット®配合錠HD
免疫調整剤	ヒドロキシクロロキン硫酸塩錠200mg「サワイ」	プラケニル®錠200mg

# 医療機関別納入実績

- 2023年度以降発売の売上伸長により採用金額が増加

(単位:軒)

医療機関		2023年度 上期実績		2024年度 上期実績			前年同期比	
施設区分	全国 総軒数(a)	採用軒数	採用金額 構成比	採用軒数 (b)	カバー率 (b/a)	採用金額 構成比	採用軒数 増減	採用金額 増減率
病院	8,080	7,997	10.9%	<b>7,945</b>	<b>98.3%</b>	<b>11.1%</b>	▲52	+4.8%
DPC 対象病院	1,786	1,757	7.0%	<b>1,778</b>	<b>99.6%</b>	<b>7.2%</b>	+21	+6.7%
診療所	111,054	38,884	9.0%	<b>38,574</b>	<b>34.7%</b>	<b>8.3%</b>	▲310	▲4.5%
薬局等	90,493	61,199	79.0%	<b>61,861</b>	<b>68.4%</b>	<b>79.6%</b>	+662	+4.3%
保険薬局	64,140	60,901	78.6%	<b>61,566</b>	<b>96.0%</b>	<b>79.1%</b>	+665	+4.3%
薬店等	26,353	298	0.4%	<b>295</b>	<b>1.1%</b>	<b>0.5%</b>	▲3	+20.7%
その他	-	-	1.1%	-	-	<b>1.0%</b>	-	▲1.9%
合計	209,627	108,080	100.0%	<b>108,380</b>	<b>51.7%</b>	<b>100.0%</b>	+300	+3.5%

# 薬効別売上数量

- 売上数量は減少したものの、製品価値の維持に向けた取り組みを推進したこと等により販売単価が改善

	2023年度 上期実績	2024年度 上期実績	前年同期比 数量増減率	前年同期比 売上額増減率
	構成比	構成比		
循環器官用薬	28.6%	<b>27.9%</b>	▲4.5%	▲3.9%
消化器官用薬	16.0%	<b>16.0%</b>	▲2.7%	+2.0%
中枢神経系用薬	15.3%	<b>15.3%</b>	▲1.9%	▲1.9%
その他の代謝性医薬品	8.4%	<b>8.5%</b>	▲1.1%	+4.4%
血液・体液用薬	8.3%	<b>8.4%</b>	▲1.4%	+1.2%
呼吸器官用薬	5.6%	<b>5.8%</b>	+0.8%	+28.0%
ビタミン剤	5.5%	<b>5.4%</b>	▲3.6%	▲6.8%
アレルギー用薬	3.0%	<b>3.2%</b>	+6.0%	+17.6%
抗生物質製剤	2.1%	<b>2.1%</b>	▲3.9%	+27.4%
その他	7.2%	<b>7.4%</b>	+0.5%	▲10.9%
合計	100.0%	<b>100.0%</b>	▲2.2%	+0.5%

事業領域	案件区分	売上収益貢献 開始時期
デジタル・ 医療機器事業	<b>SWD001（非侵襲型ニューロモデュレーション機器「レリビオン®」）</b> ・片頭痛：FY2023に製造販売承認取得、FY2024に保険償還の申請実施、販売開始予定 ・うつ病：2024年9月Neurolief社よりFDA申請を受け、国内における開発に着手 <small>※米国ではFDAよりBreakthrough Device Designationに指定されている</small>	FY2024
	<b>SWD002（NASHを適応症とする治療用アプリ、株式会社CureAppとの共同開発）</b> ・2024年1月よりフェーズ3試験を開始、FY2027上市予定	FY2027
	<b>減酒治療アプリ</b> ・2024年8月に株式会社CureAppと販売ライセンス契約を締結、FY2025上市予定	FY2025
	<b>SaluDi（PHR管理アプリ）</b> ・デジタル販促資材としての医療機関展開をさらに促進。マネタイズも検討継続	今中計期間中
GE海外輸出	<b>中国、ASEAN地域</b> ・現地パートナー企業と連携しての海外展開を検討中	今中計期間中
新薬事業 (オーファン疾患)	<b>希少疾患用医薬品(オーファンドラッグ)</b> ・新規パイプラインを探索中	—

※健康食品事業：サワイグループ全体の中長期的な事業ポートフォリオ見直しにともない、事業を終了

- 株式会社CureApp(以下「CureApp」)と減酒治療アプリ(以下:本アプリ)の販売ライセンス契約を締結  
日本におけるアルコール依存症を適応とした本アプリの独占販売権を獲得

## ■ 減酒治療アプリの概要

適応症	アルコール依存症
アルコール依存症の推定患者数(参考値)	約300万人*
役割分担	CureAppが開発、承認取得後サワイが日本において本アプリを販売
当社負担費用	① 販売ライセンスの対価および販売金額に応じたマイルストーンとして総額最大48億円 ② 本アプリ上市後の販売額に応じたロイヤリティなど

※参考値であり、当アプリの対象患者数と必ずしも一致するものではない

## ■ 今後のスケジュール

- CureAppが2024年3月に製造販売承認申請をし、承認に向けて対応中
- 承認及び保険収載後上市を予定(2025年度予定)

## 減酒治療アプリの可能性

### 現状の課題

アルコール依存症の早期治療に向けては、患者さんの医療機関を受診する抵抗感を少なくするため、非専門医療機関(アルコール依存症専門以外の精神科や一般内科など)での専門性の高い治療の提供が必要となる。しかしながら、時間的制約等から十分な対応ができていない。

### 本アプリによる心理社会的治療を補助

アプリの治療プログラムにより、患者さんに合わせた行動目標を提案、疾患教育を実施。また、日々の患者さんのデータをもとに医師の定期診療に反映

# 連結財務ハイライト-1

sawai

## 純損益計算書項目

(単位:百万円)

	2023年度 実績		2024年度 実績			2024年度 下期業績予想				2024年度 通期業績予想			
	上期	売上比	上期	売上比	前年同期比	当初予想	修正予想	売上比	前年同期比	当初予想	修正予想	売上比	前年同期比
売上収益	87,395	100.0%	<b>87,870</b>	100.0%	+0.5%	103,000	96,000	100.0%	+7.3%	202,000	183,900	100.0%	+4.0%
売上原価	60,244	68.9%	<b>60,544</b>	68.9%	+0.5%	71,500	66,600	69.4%	+6.9%	138,000	127,100	69.1%	+3.7%
売上総利益	27,151	31.1%	<b>27,326</b>	31.1%	+0.6%	31,500	29,400	30.6%	+8.2%	64,000	56,800	30.9%	+4.6%
販管費	11,480	13.1%	<b>10,858</b>	12.4%	▲5.4%	13,500	12,800	13.3%	+8.8%	27,000	23,700	12.9%	+2.0%
研究開発費	4,799	5.5%	<b>5,373</b>	6.1%	+11.9%	5,600	4,800	5.0%	▲35.0%	11,000	10,200	5.5%	▲16.3%
その他の収益・費用	20	-	<b>659</b>	-	-	-	-	-	-	-	700	0.4%	-
コア営業利益	12,475	14.3%	<b>12,575</b>	14.3%	+0.8%	13,400	12,800	13.3%	+11.7%	28,000	25,400	13.8%	+6.1%
営業利益	10,891	12.5%	<b>11,755</b>	13.4%	+7.9%	12,400	11,800	12.3%	+52.7%	26,000	23,600	12.8%	+26.7%
税引前中間(当期)利益	10,700	12.2%	<b>11,409</b>	13.0%	+6.6%	12,100	11,500	12.0%	+52.1%	27,200	22,900	12.5%	+25.4%
親会社の所有者に帰属する中間(当期)利益	8,444	9.7%	<b>18,901</b>	21.6%	+123.8%	8,000	7,500	7.8%	+42.8%	30,000	26,400	14.4%	+92.8%
EBITDA(調整後)*2	18,509	21.2%	<b>19,085</b>	21.7%	+3.1%	20,100	19,500	20.3%	+11.8%	41,400	38,700	21.0%	7.7%

\*1 売上収益～税引前利益は、継続事業の金額。親会社の所有者に帰属する当期利益は、継続事業及び非継続事業を合算した金額を表示

\*2 コア営業利益+コア営業利益算出上マイナスされる減価償却費及び償却費・減損損失

■ 経営指標	2023年度 上期実績	2024年度 上期実績	2024年度通期予想	
			当初予想	修正予想
ROE(%)	-	-	14.0	13.2
ROIC(%)	-	-	10.1	9.2
基本的1株当たり中間(当期)利益(円)	64.27	146.25	228.30 <sup>*1,2</sup>	208.53
(希薄化後)(円)	64.09	145.82	-	-
1株当たり配当金(円)	65.00	78.00	159.00 <sup>*3</sup> (53×3)	159.00 <sup>*3</sup> (53×3)

\*1 基本的1株当たり当期利益は、2025年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定。

\*2 当社は2024年6月25日開催の取締役会において、自己株式取得に係る事項の決定及び自己株式の消却に関する決議したが、連結業績予想の「基本的1株当たり当期利益(EPS)」については、当該影響を考慮していない。

\*3 2024年5月13日開催の取締役会決議により、2024年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施。株式分割を考慮しない場合の年間配当金(予想)は159円、株式分割を考慮する場合の年間配当金(予想)は53円

(単位:百万円)

## ■ 財政状態計算書項目

	2024年3月末	2024年9月末
資産合計	382,024	<b>363,748</b>
資本合計	218,030	<b>201,210</b>
親会社所有者帰属持分比率	55.7%	<b>55.3%</b>
ネットD/Eレシオ*4	0.27	<b>0.22</b>

\*4 (有利子負債-現金及び現金同等物)÷親会社の所有者に帰属する持分合計

## ■ キャッシュ・フロー計算書項目

(単位:百万円)

	2023年度 上期実績	2024年度 上期実績
営業活動によるCF	10,177	<b>7,000</b>
投資活動によるCF	▲17,015	<b>14,910</b>
財務活動によるCF	13,457	<b>▲9,305</b>
現金及び現金同等物の期末残高	40,821	<b>49,660</b>
フリーキャッシュフロー (営業CF+投資CF)	▲6,838	<b>21,910</b>

# 連結財務ハイライト-3

## ■ フルベースからコアベースへの調整について

(単位:百万円)

	2023年度 上期実績			2024年度 上期実績		
	フルベース	調整	コアベース	フルベース	調整	コアベース
売上収益	87,395	-	87,395	<b>87,870</b>	-	<b>87,870</b>
売上原価	▲ 60,244	▲ 6	▲ 60,250	<b>▲ 60,544</b>	29	<b>▲ 60,516</b>
その他	6	▲ 6	-	<b>▲ 29</b>	29	-
売上総利益	27,151	▲ 6	27,144	<b>27,326</b>	29	<b>27,355</b>
販管費	▲ 11,480	299	▲ 11,181	<b>▲ 10,858</b>	51	<b>▲ 10,806</b>
無形資産の償却費	▲ 298	298	-	<b>▲ 40</b>	40	-
その他	-	-	-	<b>▲ 11</b>	11	-
研究開発費	▲ 4,799	1,312	▲ 3,488	<b>▲ 5,373</b>	1,399	<b>▲ 3,974</b>
償却費	▲ 922	922	-	<b>▲ 852</b>	852	-
減損損失	▲ 317	317	-	<b>▲ 543</b>	543	-
その他	▲ 73	73	-	<b>▲ 4</b>	4	-
その他の収益	78	▲ 78	-	<b>776</b>	▲ 776	-
その他の費用	▲ 58	58	-	<b>▲ 117</b>	117	-
営業利益	10,891	1,584	12,475	<b>11,755</b>	820	<b>12,575</b>

## 研究開発費・販売管理費

(単位:百万円、%)

	2023年度実績		2024年度実績			2024年度通期予想		
	上期	売上比	上期	売上比	前年同期比	当初予想	修正予想	売上比
研究開発費	4,799	5.5%	<b>5,373</b>	6.1%	11.9%	11,000	<b>10,200</b>	5.5%
広告宣伝費	351	0.4%	<b>276</b>	0.3%	▲ 21.5%	800	<b>700</b>	0.4%

## 設備投資額・減価償却費

	2023年度 上期	2024年度 上期	2024年度通期予想	
			当初予想	修正予想
設備投資額 (投資ベース)	13,366	<b>19,035</b>	28,400	<b>28,400</b>
減価償却費 (固定資産・無形資産)	7,254	<b>7,402</b>	15,600	<b>15,300</b>
生産	4,768	<b>5,388</b>	11,000	<b>11,000</b>
研究・開発	1,534	<b>1,301</b>	3,200	<b>2,900</b>
管理・営業	953	<b>713</b>	1,400	<b>1,400</b>

## 人員情報

	2023年度		2024年度	
	9月末人数	構成比	9月末人数	構成比
生産	2,108	69.0%	<b>2,327</b>	71.6%
研究・開発	301	9.8%	<b>297</b>	9.1%
管理・営業	647	21.2%	<b>627</b>	19.3%
(MR)	373	-	<b>378</b>	-
合計	3,056	100.0%	<b>3,251</b>	100.0%

## 見通しに関する注意事項

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。

### 問合せ先

サワイグループホールディングス株式会社  
コーポレートコミュニケーション部

E-Mail      [ir@sawai.co.jp](mailto:ir@sawai.co.jp)

Phone        06-6105-5823